



## 新型コロナウイルス感染症に伴う

### 差別的な行為や誹謗中傷の防止のお願い

主要都市の緊急事態宣言が延長され、がまんの1ヶ月となりました。三重県でも感染者数が減少傾向にあるとはいえ、いまだ多くの方が感染して苦しんでいます。もうひと踏ん張り、家族を守る意識で、お互いに、自粛に取り組んでいきたいと思えます。

津市内でも、多くの方がPCR検査を受けているのが現状です。津市教育委員会からの文書でも、「PCR検査を受けることになったら学校に連絡を」「体調が悪いときなどは、無理をせず休むこと」などのお知らせをさせていただいているところです。

本校の保護者の皆様からも、「PCR検査を受けた職場の方がいるから大事をとって休みます。」などの連絡をいただくことも増えてきました。どれだけ予防をしても、いつ、だれが感染するかわからない今の状況です。お互いを守りあうために感染防止に努めていきましょう。

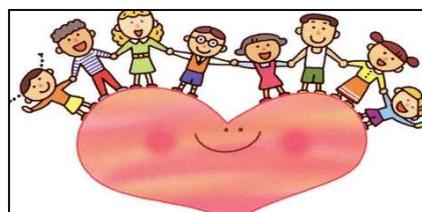
もし、本校児童が感染したとしても、みんなで温かく迎え入れることができるよう日々、人権学習に努めています。子どもたちには、「もし感染したら、一番心配なことはなに?」「まわりの友だちにどんなふうに行動してほしい?」と問いかけながら、「悪いのはコロナであり、その人じゃない」と確認しあい、自分のこととして考える機会を増やしています。決して差別をしたり、誹謗したりすることのないよう、温かく迎え入れられる学級づくりに取り組んでいます。



学級で話し合っ「コロナ対策係」が誕生しました。手洗いやマスクなどのチェックをするようです。

そこで、保護者の方へのお願いです。一番苦しんでいるのは感染した方やそのご家族です。大人が、子どもたちの見本となって、その人たちの気持ちに寄り添った言動をとっていただきたいと思えます。SNS等で事実でないことを拡散したり、デマをうのみにしたたりして行動するようなことが決してないようお願いいたします。人のいたみのわかる温かい白塚の町であってほしいと心から願っています。

どうぞ、ご理解とご協力を  
よろしく申し上げます。



# 社会を明るくする標語優秀作品紹介

白塚地区青少年育成協議会さんが、白塚小学校児童及び白塚小学校出身の一身田中学校生徒を対象に、「社会を明るくする標語」の募集を行っていただきました。標語は、小学生から319名、中学生から107名の応募がありました。全員に参加賞と優秀作品には賞状及び賞品をいただきました。ありがとうございました。

小学校の優秀作品を紹介させていただきます。

## 《小学生の作品》

- |      |                        |       |
|------|------------------------|-------|
| 【1A】 | ただいまのあとは てあらいが い しっかりと | 赤塚 仁  |
| 【1B】 | 三みつと マスク 手あらい コロナゼロ    | 山舗 柑奈 |
| 【2A】 | 今はがまん 大切な家ぞくを まもるため    | 井谷 悠真 |
| 【2B】 | ありがとう 言葉に出して つたえよう     | 西口 友麻 |
| 【3A】 | 助け合い みんなの楽しい思い出 作ろうよ   | 西村 実咲 |
| 【3B】 | この町の 明るい未来 作ろうよ        | 加藤 詩月 |
| 【4A】 | あいさつで えがおになる 町にしよう     | 近藤 大芽 |
| 【4B】 | コロナを のりこえて 笑顔に         | 森井 千尋 |
| 【5A】 | コロナでも 心はいつも 近くにいるよ     | 坂野 結菜 |
| 【5B】 | 安全で 明るい未来 つくろうよ        | 寺西 勇人 |
| 【6A】 | コロナの世界 にんたい力で のりきろう    | 稲垣璃里子 |
| 【6B】 | ゴミ拾い きれいにしよう 人の心       | 山本 蒼依 |

## 人権出合い学習

1月29日（金）6年生が、反差別人権研究所みえ（フューリアみえ）の原田朋記さんを招き、人権出合い学習を行いました。原田さんは、いじめを傍観していた自分に気づき、差別に苦しんできた家族の思いを受け止め、差別をなくしていく活動をするようになったこれまでの人生を語ってくれました。子どもたちは、真剣に話に聞き入っていました。

